



体調向上プロジェクト

- 医療情報をうまく活用しよう -

「何となく体調がすぐれないな…」「体には気を遣っているはずなのに疲れた…」なんてこと、ありませんか？そんな時に相談できるクリニックがあると安心ですね。そこで頼れるドクターに話を聞きました。



早期発見のためにまずはかかりつけ医院を リラックスできる環境作りがポイント

女性への配慮で通いやすさを追求

コロナ禍の中、健康意識が高まったとはいえ、多くの方は体に痛みや違和感を覚えたときに通院されます。その時に大きな異常が見つかった場合、入院し手術を受ける必要があるかもしれません。そのような事態を防ぐには、原因の早期発見が不可欠です。まずは安心して通える「まちのかかりつけ医」を見つけてほしいと思います。例えば、当院では通院への敷居を下げるため「通いやすい環境作り」にこだわりました。マンモグラフィ周囲のレイアウトでは、更衣室・レントゲン室・マンモグラフィまで、他の患者さんと一切接触しない通路を用意。放射線技師も女性が担当することで、少しでもリラックスして診察していただけるよう工夫をしています。



抵抗を感じる人が多い胃カメラ、大腸カメラだが同院では麻酔をかけて眠った状態で行う。痛みを感じさせない工夫にこだわると、患者により通いやすく感じてもらうため。

専門的な診察で迅速な対応を

環境を整えるだけでなく、診察から治療までスムーズに行うことができる確かな技術も信頼して通っていただくためには重要です。自分の症状がわかっている場合は、専門の医院に通われる方が良いでしょう。そうではない場合は、幅広い診療科目を設けている医院に通うことから始めましょう。当院では、内科・消化器内科・内視鏡内科・乳腺外科・循環器内科・外科を診療科目として設けています。必要な検査をすべて当院内で行うことができるよう、設備を充実させ、当院での治療が難しい場合も、できるだけ詳しいデータをとることで治療を担当する病院に引き継ぎます。何が原因かわかるまで時間がかかる…そういったことのないクリニックこそ、まちのかかりつけ医として信頼されるのではないかと考えています。



院内のレイアウトデザインは大石院長の奥様が担当。女性が安心して受診できるよう、ウッディなやわらかい雰囲気統一している。

大石クリニック 大石賢玄 院長

関西医科大学卒業。関西医科大学附属病院などで一般外科、消化器外科、乳腺外科を中心に経験を積んだ「原因の早期発見のため、安心して相談できるまちのお医者さんになりたい」との思いで、2020年5月に同クリニックを開院。



コロナ等感染疑いのある患者には 自家用車で完結する発熱外来を

新型コロナウイルスやインフルエンザ感染の疑いがある場合でも、患者は一步も自家用車の外に出ることなく、駐車場で診察が可能。「他の患者と接触することがないので、疑いのある本人にも周りを気にせずに気軽に受診してほしい」(大石院長)



大石クリニック

箕面市船場西三丁目6番32号
箕面船場クリニックビル302号室
営/午前診:9時~12時
午後診:16時~19時 日曜休診
※水・土曜は午後診休診

☎072-728-0018
<https://oishi-cl.jp/>



新型コロナウイルス対策

「手洗い」や「マスク」による乾燥&肌荒れを防ぐ

冬になると乾燥に悩む患者さんが増えてきます。特に今年は新型コロナウイルスの影響で、アルコール消毒による手荒れや乾燥に悩んでいる方が多い印象です。乾燥肌というものはある程度遺伝するといわれていて、例えば「乾燥」と「アレルギー」が組み合わさって発症するアトピー性皮膚炎の患者さんの3割程度に、「乾燥肌」に関連する遺伝子に異常が見つかっています。「天然保湿因子」は皮膚の水分を保持する機能を担っていますが、年齢を重ねるにつれ乾燥しやすくなるのは、この天然保湿因子の減少することが原因の一つです。天然保湿因子は食べ物やサプリで補うことができず、よく言われる飲むコラーゲンは、直接的には乾燥肌には効果が無いと考えられています。

乾燥を防ぐには外から保湿することが大切です。皮膚科クリニックでは一般的に高い保湿作用のある「尿素」や「ヘパリン類似物質」が含まれる保湿剤を処方す

ることが多いです。市販のものではセラミド含有のハンドクリームなどがおすすめです。手洗い後、保湿をしないと手湿疹の原因になり、放っておくとあかぎれになったり、爪が変形することもあります。ぜひ手洗いと保湿をセットで行うようにしてください。

また夏場に多かった相談が、あご周りのニキビや肌荒れです。原因はマスクが擦れて肌に負担がかかったり、マスク内の温度や湿度が上がりアクネ菌が繁殖したことが考えられます。ニキビ治療は進歩していて、炎症を抑える抗生剤だけでなく、毛穴のつまりを取るための薬ができています。ニキビ跡にはケミカルピーリングやフラクショナルレーザーといった治療法もあります。いずれにせよ、早めに治療することをおすすめします。

平日は18時まで診療し、アトピー性皮膚炎、じんましんなどのアレルギー疾患から、できもの手術やレーザー治療まで、皮膚のお悩みに幅広く対応しています。



花房 崇明 院長

大阪大学医学部卒業。医学博士。日本皮膚科学会認定皮膚科専門医。自身もアトピー性皮膚炎で、経験を活かせると考え皮膚科の道へ。テレビ取材などメディア掲載多数。



皮膚のお悩みに幅広く対応できるように、複数の皮膚科専門医の非常勤医師に加え、形成外科医が常勤として勤務しているため、入院の必要がないほぼ全ての皮膚科診療・形成外科診療が可能です。

医療法人 佑諒会

千里中央花ふさ皮ふ科

豊中市上新田2-24-50-1 上新田メディカルブリッジ2F
診/午前診:9時~12時、午後診:15時~18時
水曜午後、土曜午後、日曜、祝日休診
※完全予約制 9台P有

☎06-6872-1200
<https://hanafusa-hifuka.com/>



オープン型MRIのある整形外科

頭痛・物忘れ外来から訪問診療まで幅広く対応

当院は、昨年に前身の「猪瀬整形外科クリニック」から「緑地公園メディカルクリニック」に名称を変更いたしました。開院から20年、患者様の高齢化が進む中でより多面的な役目を果たしていくべく、2019年度より新しく在宅診療(内科・精神科)をスタート。通所困難な患者様に対し、月2回計画的な医学管理のもと、医師が定期的にご自宅までお伺いすることが可能になりました。さらにオープン型のMRIを導入し、脳神経外科外来(頭痛・物忘れ外来)の診療を開始。

これからも当院は、患者様に寄り添いながら歩んでまいります。



昨年オープン型MRIを導入。MRI検査は、頭部や脊椎検査において、レントゲンよりも関節や靭帯を明瞭に確認することが可能に。検査結果も当日にわかり、総合病院などへの紹介対応いたします。



猪瀬 正美 院長



アルコール消毒、受付にはフィルムを設置し対応しております。



待合も一人がけのイスに入れ替え、職員の体温管理など徹底。

New!

骨密度測定器(DEXA)

導入しました!

世界中の骨粗しょう症ガイドラインで基準測定器として定められているX線骨密度測定装置です。

こんな方に……

- 身長が低くなったり、背中が丸くなった方
- 40歳以上の女性、65歳以上の男性
- 足や腰、背中にも痛みや不安のある方
- 軽い衝撃で骨折したことがある方
- 日常的に喫煙。飲酒をたしなまれる方

訪問診療について

【診療科目】内科・精神科
【診療内容】定期的な訪問診療・必要に応じた検査の実施・注射・点滴などの処置
【訪問診療エリア】豊中市を中心に、クリニックより半径約16kmのエリアへ訪問可能

医療法人 猪瀬整形外科

緑地公園メディカルクリニック

(リョクチコウエンメディカルクリニック)

豊中市寺内2-4-1緑地ビル2F
受/8時45分~11時45分、15時~18時
水・日・祝休診

☎06-6863-1841
<https://inose-seikei.com/>

